



平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年5月10日

上場取引所 福

上場会社名 トラストパーク株式会社
コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 靖司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢羽田 弘

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

TEL 092-437-8944

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	3,615	7.7	91	178.8	64	214.8	△33	—
21年6月期第3四半期	3,357	—	32	—	20	—	△6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	△3,749.19	—
21年6月期第3四半期	△784.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	3,898	433	11.1	48,782.98
21年6月期	2,528	488	19.3	54,932.25

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 433百万円 21年6月期 488百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	1,200.00	—	1,200.00	2,400.00
22年6月期	—	1,200.00	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	1,200.00	2,400.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	7.5	170	171.0	140	206.7	10	—	1,125.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年6月期第3四半期 | 8,885株 | 21年6月期 | 8,885株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年6月期第3四半期 | 一株 | 21年6月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年6月期第3四半期 | 8,885株 | 21年6月期第3四半期 | 8,885株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年秋の世界的な金融危機に端を発し大幅に悪化した金融と経済は最悪の事態を脱しつつありますが、雇用情勢や所得環境の低迷等、依然として先行き不透明な状況は続いております。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、駐車場の稼働状況は回復基調にはありますが、まだ需要が完全に回復するまでには至っておらず、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、引き続き新規駐車場の開発に注力した結果、第3四半期末の駐車場数は前期末より43ヶ所増の464ヶ所、車室数は1,440車室増の20,610車室となりました。また、既存駐車場におきましても、引き続きカード会員拡大、タイムリーな駐車料金改定、駐車場賃借料の見直し、月極駐車場顧客の確保及び不採算駐車場からの撤退等収益力向上にも注力してまいりました。さらに、低採算駐車場19ヶ所の駐車場設備等の減損損失、駐車場精算機開発中止損失等合わせて11,559千円を計上いたしました。

一方、飲食事業において、当社が運営・管理する駐車場内にて展開してまいりました「いなほ焼き」販売につきましては、販売の伸び悩み等により採算確保は困難と判断し、同商品の販売から撤退いたしました。また、効率化の観点よりグループ企業の事業の見直しを行い、当社の連結子会社であるピー・エム・トラスター株式会社の解散を決議いたしました。こうした動きに伴い、「いなほ焼き」店舗設備等の減損損失43,952千円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,615,647千円（前年同期比7.7%増）、営業利益91,258千円（前年同期比178.8%増）、経常利益64,456千円（前年同期比214.8%増）、四半期純損失は33,311千円（前年同期は四半期純損失6,966千円）となりました。

セグメント別の業績については、以下の通りであります。

①駐車場事業

新規駐車場開発の強化及び既存駐車場の収益力向上並びに不採算駐車場からの撤退等を推進した結果、売上高は3,551,654千円（前年同期比6.8%増）、営業利益は180,240千円（前年同期比274.1%増）となりました。

②CG制作事業

メインクライアントからの受注確保及び新規クライアントの開拓活動に注力いたしましたが、企業収益の悪化による経費削減傾向の影響もあり、売上高21,832千円（前年同期比7.8%増）、営業損失3,265千円（前年同期は5,834千円の営業損失）となりました。

③不動産等事業

駐車場を中心とした不動産売買仲介事業の他、鹿児島県薩摩川内市にてマンション開発事業（平成22年7月竣工予定）を展開した結果、売上高3,238千円（前年同期比65.8%減）、営業損失38,995千円（前年同期は2,532千円の営業利益）となりました。

④飲食事業

福岡市、長崎県佐世保市及び大阪市の当社が運営・管理する駐車場内を中心に「いなほ焼き」及び「揚げパン」の店舗を展開、売上高は38,921千円（前年同期の売上高は1,680千円）、営業損失は46,720千円（前年同期は5,546千円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,205,787千円増加し、2,459,993千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加156,195千円、販売用不動産の増加497,582千円、仕掛販売用不動産の増加513,312千円、前払費用の増加36,979千円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して164,413千円増加し、1,438,419千円となりました。これは主として、新規直営駐車場等の設備投資による有形固定資産の増加33,483千円、のれん等の取得による無形固定資産の増加52,275千円、敷金及び保証金の差入等による投資その他の資産の増加78,655千円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,159,295千円増加し、2,297,386千円となりました。これは主として、短期借入金の増加676,600千円、1年内返済予定の長期借入金の増加403,120千円、未払法人税等の増加34,400千円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比較して265,541千円増加し、1,167,590千円となりました。これは主として、長期借入金の増加217,355千円、月極駐車場契約者からの預り敷金の増加12,032千円、退職給付引当金の増加2,588千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して54,636千円減少し、433,436千円となりました。これは主として、四半期純損失の計上33,311千円及び配当金の支払21,324千円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し144,666千円増加し、842,302千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、437,277千円(前年同期は26,157千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益6,531千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費78,637千円、駐車場設備、店舗設備等の減損損失52,065千円、売上債権の減少18,546千円による収入、たな卸資産の増加553,275千円による支出、前払費用の増加35,904千円の支出等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、206,702千円(前年同期は457,136千円の使用)となりました。これは主に新規駐車場設備に係る有形固定資産の取得による支出83,617千円、定期預金の預入による支出12,733千円、事業譲受けによるのれんの取得による支出66,489千円、新規駐車場に係る敷金預託による支出50,805千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により取得した資金は、788,645千円(前年同期は680,472千円の取得)となりました。これは主に短期借入れによる収入1,820,000千円と短期借入金の返済による支出1,600,000千円、長期借入れによる収入750,000千円と長期借入金の返済による支出129,525千円、配当金の支払額20,163千円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、概ね予定通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、平成22年2月10日付で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

なお、当社の連結子会社であるピー・エム・トラスト株式会社は、平成22年2月15日開催の臨時株主総会において解散する旨の決議を行い、現在清算手続中であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	906,891	750,696
受取手形及び売掛金	107,694	126,241
有価証券	12,032	12,027
販売用不動産	497,582	—
仕掛販売用不動産	640,822	127,510
原材料及び貯蔵品	897	1,916
前払費用	245,261	208,281
その他	51,445	30,903
貸倒引当金	△2,634	△3,371
流動資産合計	2,459,993	1,254,205
固定資産		
有形固定資産		
土地	789,227	767,285
その他(純額)	227,324	215,783
有形固定資産合計	1,016,552	983,069
無形固定資産		
のれん	62,250	—
その他	23,074	33,049
無形固定資産合計	85,325	33,049
投資その他の資産		
その他	336,911	257,977
貸倒引当金	△368	△90
投資その他の資産合計	336,542	257,887
固定資産合計	1,438,419	1,274,006
資産合計	3,898,413	2,528,211

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,884	72,450
短期借入金	1,276,600	600,000
1年内返済予定の長期借入金	503,876	100,756
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	46,410	12,010
ポイント引当金	24,614	22,072
その他	392,001	325,801
流動負債合計	2,297,386	1,138,090
固定負債		
長期借入金	950,895	733,540
退職給付引当金	6,165	3,577
その他	210,530	164,931
固定負債合計	1,167,590	902,048
負債合計	3,464,976	2,040,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,500	333,500
資本剰余金	104,000	104,000
利益剰余金	△4,065	50,570
株主資本合計	433,434	488,070
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	2
評価・換算差額等合計	2	2
純資産合計	433,436	488,073
負債純資産合計	3,898,413	2,528,211

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
売上高	3,357,936	3,615,647
売上原価	2,793,481	2,933,434
売上総利益	564,455	682,212
販売費及び一般管理費	531,719	590,953
営業利益	32,735	91,258
営業外収益		
受取利息	1,071	351
受取配当金	12	5
受取保険金	752	915
その他	1,178	1,526
営業外収益合計	3,015	2,799
営業外費用		
支払利息	12,480	24,025
その他	2,794	5,577
営業外費用合計	15,275	29,602
経常利益	20,475	64,456
特別利益		
固定資産売却益	320	—
特別利益合計	320	—
特別損失		
固定資産売却損	41	—
減損損失	4,736	52,065
その他	72	5,858
特別損失合計	4,849	57,924
税金等調整前四半期純利益	15,946	6,531
法人税、住民税及び事業税	19,542	59,171
法人税等調整額	3,370	△19,328
法人税等合計	22,912	39,843
四半期純損失(△)	△6,966	△33,311

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	1,148,900	1,223,207
売上原価	960,448	982,622
売上総利益	188,452	240,584
販売費及び一般管理費	187,202	193,946
営業利益	1,250	46,638
営業外収益		
受取利息	377	167
受取配当金	5	2
還付事業所税	—	506
その他	299	191
営業外収益合計	682	867
営業外費用		
支払利息	4,676	10,499
その他	552	1,857
営業外費用合計	5,229	12,357
経常利益又は経常損失(△)	△3,296	35,149
特別利益		
固定資産売却益	220	—
貸倒引当金戻入額	—	103
特別利益合計	220	103
特別損失		
固定資産除却損	51	—
減損損失	—	12,446
その他	—	2,137
特別損失合計	51	14,583
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,128	20,669
法人税、住民税及び事業税	5,736	10,449
法人税等調整額	△971	10,185
法人税等合計	4,764	20,634
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,892	34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,946	6,531
減価償却費	61,962	78,637
減損損失	4,736	52,065
のれん償却額	—	4,238
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△396	△458
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,904	2,542
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,757	2,588
受取利息及び受取配当金	△1,083	△357
支払利息	12,480	24,025
有形固定資産売却損益 (△は益)	△278	—
固定資産除却損	243	2,198
売上債権の増減額 (△は増加)	29,624	18,546
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,082	△553,275
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,288	△18,566
前払費用の増減額 (△は増加)	△14,723	△35,904
その他	△1,853	22,105
小計	99,947	△395,084
利息及び配当金の受取額	1,083	357
利息の支払額	△13,775	△21,232
法人税等の支払額	△113,413	△24,964
法人税等の還付額	—	3,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,157	△437,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△53,070	△12,733
定期預金の払戻による収入	1,200	1,200
有価証券の取得による支出	—	△10,000
有価証券の償還による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△371,356	△83,617
事業譲受による支出	—	△66,489
無形固定資産の取得による支出	△10,735	△1,645
有形固定資産の売却による収入	370	—
投資有価証券の取得による支出	—	△60
貸付けによる支出	—	△1,200
貸付金の回収による収入	382	393
敷金の回収による収入	7,675	9,329
敷金の差入による支出	△30,830	△50,805
その他	△771	△1,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△457,136	△206,702

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,525,000	1,820,000
短期借入金の返済による支出	△1,185,000	△1,600,000
長期借入れによる収入	445,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△68,796	△129,525
割賦債務の返済による支出	△4,363	△4,529
社債の償還による支出	△10,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△1,824	△22,135
配当金の支払額	△19,543	△20,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	680,472	788,645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	197,178	144,666
現金及び現金同等物の期首残高	325,783	697,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	522,961	842,302

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作 事業 (千円)	不動産等 事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対 する売上高	3,326,544	20,253	9,458	1,680	3,357,936	—	3,357,936
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60	—	6,592	—	6,652	(6,652)	—
計	3,326,604	20,253	16,050	1,680	3,364,589	(6,652)	3,357,936
営業利益又は営業損 失(△)	48,176	△5,834	2,532	△5,546	39,328	(6,592)	32,735

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作 事業 (千円)	不動産等 事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対 する売上高	3,551,654	21,832	3,238	38,921	3,615,647	—	3,615,647
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,503	—	—	—	2,503	(2,503)	—
計	3,554,158	21,832	3,238	38,921	3,618,150	(2,503)	3,615,647
営業利益又は営業損 失(△)	180,240	△3,265	△38,995	△46,720	91,258	—	91,258

(注) 1 事業の区分の方法

事業は、役務の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 駐車場事業・・・駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する事業
- (2) CG制作事業・・・コンピュータグラフィックスの制作販売に関する事業
- (3) 不動産等事業・・・不動産の売買、仲介及び賃貸並びにこれらに付随する事業
- (4) 飲食事業・・・飲食サービス店舗の運営及びこれらに付随する事業

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(重要な設備投資)

当社は、平成22年3月31日開催の取締役会決議に基づいて、停止条件付信託受益権譲渡契約を平成22年3月31日に締結し、平成22年4月21日に信託受益権を取得いたしました。その概要は次のとおりであります。

- 1 取得の目的
新規直営駐車場設備を取得することを目的としております。
- 2 設備投資の内容
名 称：小倉北区浅野自走式駐車場
土地面積：4,360.12㎡
建物面積：7,718.75㎡
投資金額：808,306千円
所 在 地：福岡県北九州市
- 3 当該設備が営業活動等に及ぼす重要な影響
直営駐車場の車室数が4%程度増加する予定であります。
- 4 資金調達方法
信託受益権の取得の資金として、以下の借入を実行しております。
 - (1)借入先の名称
株式会社西日本シティ銀行
 - (2)借入金額、借入条件
借入金額 700,000千円
借入利率 1.557%
返済方法 毎月 2,917千円(最終月のみ2,837千円)の約定弁済
 - (3)借入の実施時期、返済期限
借入実行日 平成22年4月21日
借入期間 20年(平成22年4月21日から平成42年4月15日)
 - (4)担保提供資産
自走式駐車場土地建物(福岡県北九州市)
- 5 その他
平成22年4月21日をもって本信託契約を合意解約しております。